

ソフト・ボール協会

沿 革

ソフトボールが、いつごろ、どこで、だれの手でつくられたスポーツであるか、ということについては、いろいろの説がある。どれが正確であるかははっきりしない。しかし、ソフトボールは「野球のための冬季トレーニングゲームとして1900年ごろアメリカに起ったインドア・ベースボール」にはじまるということである。したがって、野球のルールやもち味を基本とした競技である。1920年代になると屋内より屋外でさかんにプレイされるようになり、「プレイグラウンド・ボール」と呼ばれていた。1933年名称も今日の「ソフト・ボール」に統一された。この競技は、アメリカでは日本の軟式野球に相当するスポーツとして最大の競技人口を誇っている。

わが国では

大正10年ごろ紹介され「インドア・ボール」と呼ばれ、もっぱら学校教育の体操教材として親しまれていた。これが本格的に発展したのは、終戦時の1945年（昭和20年）の秋には米軍兵士と日本人の間でさかんにプレイが行なわれたが、それは「インドア・ボール」とまったく様相を異にしたゲームであって、大いに日本人の目をうばったものである。1946年（昭和21年）全日本軟式野球連盟のソフト・ボール部が設けられたが、1949年（昭和24年）日本ソフト・ボール協会が独立した。また、1951年（昭和26年）には、国際ソフト・ボール連盟「略称ISF」に加入を認められ、1970年（昭和45年）大阪で行なわれた、第2回世界女子ソフト・ボール選手権大会では、わがナショナルチームが初優勝を飾った。野球好きな日本人のセンスにぴったりのソフト・ボールは、当初、「老・幼・婦女子等のための競技」として歓迎されていたが、競技のもつ特性と技術の進歩にともなって、今日では若い男子の間にも普及し、もはや草野球程度の実力ではソフトボールでの勝利は及びもつかないほど高度のスポーツとなった。そして、ソフトボールの普及と発展につれて、そのルールは次第に複雑となってきた。ソフトボールの特色としては、せまい場所で、短い時間に簡単にプレイできるという伝統的な性格のほか、ゲームに見られるスピードとテクニック、コンビネーションプレイをその醍醐味としている。とくに1点を争うゲームのもつ心理的葛藤のおもしろさは格別である。またどちらかといえば攻撃型というよりも、守備型のゲームであって、へたはへたなりにやっておもしろい競技であるが、じょうずになろうとすれば奥の知れない高度のスポーツである。

北海道ソフト・ボール協会

北海道ソフトボール協会は昭和25年札幌北高教諭（現札幌大学）宮田友治氏、道教育委員会保健体育課次長 川田正徳氏、札幌市立北辰中学校教諭 前田 彰氏、国鉄職員 児玉 実氏等が中心となり協会を創立した。協会創立時、特に札幌・函館地方中心に女子の競技がさかんに行なわれた。

現在の北海道ソフト・ボール協会の役員 会長 地崎宇三郎氏 理事長 前田 彰氏

十勝ソフトボール協会

十勝ソフトボールの歴史については資料不足のため詳細については不明であるが、昭和25～26年頃中学校の地域的大会が始められて、昭和26年に全十勝大会が開催されている。一方高校では昭和25・26年、帯広三条高校が全道大会に参加している。しかし専門的な知識や技術を有した指導者もいなくそのレベルも、普及度も低かった。昭和33年頃より徐々に普及しレベルも高まりつつ大会も継続的に行なわれるようになった。そのような中で昭和42年池田西高等学校が全道大会準優勝をした。また今年度は高体連全道大会において帯広南商業高校が優勝をした。協会設立については昭和42年設立の動きが活発化し、池田町内の各有志 石田春吉氏・若山清治氏・牧野成二氏・多田順一氏等の各氏の努力により、昭和42年10月15日、道協会理事長 前田 彰氏等を招き審判講習会を開催し池田町ソフトボール協会が設立され、十勝協会の母体となった。昭和44年3月道協会総会において十勝協会設立が承認され、昭和44年4月正式に十勝ソフトボール協会が発足した。その頃帯広、十勝の女子チームが目ざましく活躍されました。帯広京屋（現 帯広クラブ）が全道大会出場、野津紡績が国体道予選で優勝。またその頃公認審判員も60名程度であったが、現在、十勝管内14協会（2地区協会設立準備中）があり、公認審判員 1種 6名、2種 46名、3種 457名、計509名の大組織となり、各公認審判員は、郷土の大衆スポーツ、ソフトボールの底辺拡大と技術指導に努力されています。

現在の十勝ソフトボール協会役員 会長 石田春吉氏、副会長 三村弥知夫氏・牧野成二氏・近藤宣治氏・吉田次夫氏・後藤孝夫氏・中川吉次氏、理事長 木村 敬氏、事務局長 小沢真昌氏、審判長 田中巖氏

幕別町ソフトボール協会

昭和50年6～7月ごろより協会設立の動きが活発化し、町教委社会体育係長 本保喜秀氏、石田十勝協会会長、若山理事長等の指導を受けながらも、豊田 実氏・松本純一氏・国枝正義氏・林 照男氏・小川義男氏等が中心となり、また町内各有志の賛同を得、昭和50年11月25日幕別町ソフトボール協会が発足し、51年2月 十勝協会総会において加盟が承認されました。創立時 協会員 46名 現在転出その他で42名（女子2名）、また創立時 公認審判員 2種 2名、3種 1名であったが昭和52年幕別町において3種公認審判員認定講習会を十勝協会の指導のもとに開催し協会員の中より20名の方々が受講しルール、審判実技のテストを受け、20名全員が合格し今日のソフトボール協会の基礎を築いた。現在公認審判員 2種 4名、3種 33名（女子2名）会員5名である。協会設立は、これまでの町教委依存のソフトボール事業を脱し、協会員、町民各位の自らの手でソフトボールの普及、技術向上を目ざして意気こんだものであったが、創立1～2年は大変苦勞するといわれるが、ルールに対してかならずしも正しく理解されていない事もあり、競技中ルールの説明をすることもしばしばあった。しかし、今は過去の苦しい想い出として、反省会でときおり話に花がさくこともあります。現在はル



十勝ソフトボール協会
会長 石田春吉氏



幕別町ソフトボール協会
会長 三村弥知夫氏

ル、審判技術も広く町民に理解されると共に、協会にソフトボールの実技講習を申し出てくるチームもあり進歩、充実してきた。

〈幕別町ソフトボール協会歴代役員〉

◎昭和51年度

会長 三村弥知夫、副会長 豊田 実・石川健一・新田勝治、理事長 松本純一、理事 菅野良則
田畑博章・梶田亮子・高橋登志美・上田宣慶・岡本光男・獄山信行、監事 田中 雅・小笠原稔晴

◎昭和52年度

会長 三村弥知夫、副会長 豊田 実・石川健一・新田勝治、理事長 松本純一、会計 田中 雅、
理事 菅野良則・田畑博章・梶田亮子・高橋登志美・上田宣慶・岡本光男・桜田忠司、監事 小笠
原稔晴・鈴江義輝

◎昭和53年度

会長 三村弥知夫、副会長 桜田忠司・岡本光男・松本純一、理事長 豊田 実、会計 田中 雅
理事 堀口利雄・梶田亮子・高橋登志美・佐々木正泰・石川健一・厚谷春美男・新田勝治・上田宣
慶、監事 小笠原稔晴・鈴江義輝

◎昭和54年度

会長 三村弥知夫、副会長 桜田忠司・松本純一・上田宣慶、理事長 豊田 実、会計 田中 雅
理事 井上邦夫・田辺弘司・梶田亮子・岡田宏平・厚谷春美男・棚 勝・長崎光男・関 善治、監
事 金野 章・小笠原稔晴、審判部長 井上邦夫



54年度 全幕別男子ソフトボール
選手権大会 選手宣誓



婦人ソフトボール教室
受講者の面々(西幕)



幕別町ソフトボール協会
会員一同

〈主な競技の沿革〉

◎昭和51年

5月16日 ルール講習会

町民一般、協会員にソフトボールの正しいルール、審判技術指導を十勝協会から指
導を受ける。

6月7～16日	第5回議会杯たそがれソフトボール中央大会	参加チーム 20	参加人員 320名	優勝 旭町2	準優勝 本町
6月27日	第5回議会杯ソフトボール西幕大会	参加チーム 14	参加人員 210名	優勝 春日町	準優勝 市街3
7月5～16日	第3回町民ソフトボールたそがれ予選中央大会	参加チーム 19	参加人員 285名	優勝 旭町4	準優勝 錦町
7月11日	第3回町民ソフトボール西幕予選大会	参加チーム 17	参加人員 255名	優勝 中央3	準優勝 桂町
7月24日	道民スポーツ、ソフトボール東部地区大会(女子)	参加チーム 3	参加人員 39名	優勝 池田町	準優勝 豊頃町
8月25日	第3回町民ソフトボール南幕予選大会	参加チーム 12	参加人員 180名	優勝 駒畠A	準優勝 糠内市街
9月22日	第3回町民ソフトボール決勝大会	参加チーム 8	参加人員 104名	優勝 春日町	準優勝 中央3

◎昭和52年

4月24日	審判ルール伝達講習会	52年度のオフィシャルソフトボール・ルールの改正点の説明及び審判技術の講習			
5月18日	第3種公認審判認定講習会	幕別協会より20名受講 全員合格			
6月19日	第6回町民ソフトボール中央予選大会	参加チーム 15	参加人員 255名	優勝 旭町4	準優勝 軍岡 3位 明野北
6月26日	公区対抗女子ソフトボール中央大会	参加チーム 9	参加人員 153名	優勝 旭町	準優勝 寿町 3位 南町
6月26日	公区対抗女子ソフトボール西幕大会	参加チーム 6	参加人員 102名	優勝 泉町	準優勝 あかしや町 3位 青葉町
7月10日	第6回町民ソフトボール西幕予選大会	参加チーム 21	参加人員 375名	優勝 春日町	準優勝 古舞C 3位 泉町
7月24日	第6回町民ソフトボール南幕予選大会	参加チーム 11	参加人員 187名	優勝 糠内A	準優勝 駒畠
8月7日	第1回全幕別男子ソフトボール選手権大会	この大会の目的はソフトボールの競技を通じて町民相互の親睦をはかると共に優勝チームは十勝ソフトボール選手権大会に幕別町を代表して今年より初めて町外へ出場。参加チーム 18 参加人員 296名 優勝 春日町 準優勝 幕別スワローズ 3位 古舞			

8月21日 第6回町民ソフトボール決勝大会

参加チーム 8 参加人員 136名

優勝 駒島 準優勝 糠内A 3位 泉町

9月5日 第1回全幕別女子ソフトボール選手権大会

この大会も男子同様優勝チームは十勝選手権大会に初めて出場する。

参加チーム 10 参加人員 170名

優勝 ママさん同好会 準優勝 新田ベニヤ

優勝チーム ママさん同好会は芽室町で開催された十勝選手権に出場した。

◎昭和53年

5月7日 実技講習会 各公区体育部長並びに町民一般の方々に呼びかけソフトボールの正しい実技指導 参加人員 25名

5月17日 審判ルール伝達講習会 53年度のルールの改正点説明 審判技術の講習会

6月4日 第2回全幕別女子ソフトボール選手権大会

参加チーム 6 参加人員 92名

優勝 ママさん同好会 準優勝 新田ベニヤ

6月4日 第1回全幕別壮年ソフトボール大会

今年から道民スポーツ大会において壮年の部が設けられ、満40才以上の方でなければ出場が認められない年齢制限となっています。「よびもどそう、もう一度」をキャッチフレーズに開催致しましたが、この大会の目的を理解されたか？この大会を年2回位計画をたててほしいとの要望があり、大成功の大会であった。

参加チーム 6 参加人員 82名 優勝 南幕 準優勝 錦町

なお、この大会において優れた選手を選抜して池田町で開催された東部大会に出場した。

6月18日 第7回町民ソフトボール中央予選大会

参加チーム 14 参加人員 235名

優勝 旭町2 準優勝 軍岡

3位 錦町

7月9日 第7回町民ソフトボール西幕予選大会

参加チーム 19 参加人員 320名

優勝 春日A 準優勝 泉A

3位 春日B

7月23日 第7回町民ソフトボール南幕予選大会

参加チーム 10 参加人員 165名 優勝 駒島 準優勝 明倫

8月20日 第2回全幕別男子ソフトボール選手権大会

参加チーム 23 参加人員 320名 優勝 春日 準優勝 小川モータース

この大会の優勝春日チームは足寄町で開催された十勝選手権大会へ出場



ソフトボール協会
審判講習会

- 9月23日 公区対抗女子ソフトボール中央大会
 参加チーム 8 参加人員 124名
 優勝 錦町 準優勝 緑町 3位 新町
- 9月23日 公区対抗女子ソフトボール西幕大会
 参加チーム 10 参加人員 162名
 優勝 西町 準優勝 青葉1 3位 青葉2
- 10月8日 第7回町民ソフトボール決勝大会
 参加チーム 8 参加人員 117
 優勝 春日A 準優勝 旭町2 3位 軍岡

◎昭和54年

- 4月～5月 婦人ソフトボール教室 中央地区幕中体育館 西幕地区 札内スポーツセンター
 この教室は地域の婦人の方々の要望で始められ、婦人の方々の余暇と体力に適合し、ソフトボールの基本を学び、楽しみ、それぞれが家庭生活の活力になればと開設致しました。指導員はソフトボール協会員で、中央地区 菅野良則主任指導員、井上邦夫氏・田中 雅氏・松本純一氏・豊田 実氏の各指導員
 西幕地区 桜田忠司主任指導員、厚谷春美男氏・三村弥知夫氏・上田一栄氏・福井久夫氏の各氏が指導に当る。この教室の成果があらわれているのは楽しいものである。

- 5月13日 ソフトボール実技講習会
 この講習会は町民一般の方々を対象に正しいソフトボールの実技を理解していただくために行なわれたものであるが、受講者の中に幕中ソフトボールクラブの、渡辺はるみさん、森典子さん、於久田笑さん、佐渡広美さん等がこられたのはたのもしい。今後も実技講習は開催致しますが、この生徒のように自主的に参加されると共に、中学生のソフトボール普及は町民全体の普及、発展につながっていくものである。

- 5月25日 審判ルール伝達講習会 54年度ルール改正点説明 審判実技講習会

- 6月10日 第3回全幕別女子ソフトボール選手権大会
 参加チーム 9 参加人員 133名
 優勝 幕別クラブ 準優勝 新田ベニヤ
 優勝幕別クラブは池田町で開催された道民スポーツ大会に幕別町代表として出場



婦人ソフトボール教室
 実技講習 (中央)

- 6月10日 第2回全幕別壮年ソフトボール大会
 参加チーム 8 参加人員 120名
 優勝 春日 準優勝 若草町
 優れた人材を町民一般より選抜して池田町で開催された道民スポーツ大会に幕別町を代表して出場

- 6月24日 第8回町民ソフトボール中央予選大会
 参加チーム 11 参加人員 165名
 優勝 軍岡 準優勝 錦町 3位 西猿別
- 7月8日 第8回町民ソフトボール西幕予選大会
 参加チーム 23 参加人員 391名
 優勝 春日B 準優勝 泉A 3位 青葉町1
- 7月22日 第8回町民ソフトボール南幕予選大会
 参加チーム 14 参加人員 224名 優勝 明倫B 準優勝 糠内第1
- 7月21・22日 第16回全十勝町村役場女子職員ソフトボール大会 16チーム
 この大会は協会設立後最も大きな十勝大会で幕別町でこの様な多数の選手また技術的にも優れたチームが来られたのも初めてであろう。審判員はもとより、町民、役場職員も目をみはる場面がしばしばあった。
- 8月5日 幕別町地域子供会ソフトボール大会
- 8月12日 この大会は、中央地区、西幕地区、南幕地区に分けられ約1,000人の子供達が参加された大会である。
- 8月19日 第3回全幕別男子ソフトボール選手権大会
 参加チーム 23 参加人員 445名 優勝 春日 準優勝 軍岡
 なおこの大会の4位までのチームは9月23日、24日幕別町で開催される十勝選手権大会に出場しました。
- 8月26日 公区対抗女子ソフトボール中央・南幕大会
 参加チーム 6 参加人員 102名 優勝 緑町3 準優勝 緑町2
- 8月26日 公区対抗女子ソフトボール西幕大会
 参加チーム 11 参加人員 187名 優勝 西町 準優勝 青葉
- 9月23・24日 開町記念 第11回全十勝ソフトボール選手権大会
 参加チーム 一般男子 22 参加人員 366名
 一般女子 7 参加人員 119名
 一般男子優勝 池田クラブ 準優勝 芽室クラブ
 3位 帯広自衛隊、高島クラブ
 一般女子優勝 芽室高校 準優勝 池田クラブ 3位 幕別クラブ、陸別町

現 況

ソフトボール協会創立以来、逐年発展の道を歩み、審判員諸氏の技術の進歩、向上をと、着実にその成果をあげている。本年度は、ソフトボールの年といつてよいほど、年度計画のほか、第16回全十勝役場職員女子ソフトボール大会、第11回全十勝ソフトボール選手権大会等が本町で開催されました。協会創立以来初めての十勝大会であります。本大会に出場された幕別チームはもとより、熱心に観覧された数多くの町民は、ゲームに見られた、スピードとテクニック、コンビネーションプレイと

その醍醐味を感じた事であろう。本町より出場した某選手は「おそろしい競技だ」「野球的観念では通じない基本が違う」などいろいろな感想をのべていた。この大会を通じて、ソフトボールを楽しむ町民が少しでも、ソフトボールを正しく理解され本町のソフトボール普及に理解を示されれば幸いと思う。本町の普及面においては西幕地区は、人口増加にみられるように各大会においても出場チームがわずかではあるが増加しつつあるが、中央地区においては減少しつつあるのは誠に淋しい限りである。各公区長・体育部長、並びに関係者の奮起を望むところであります。

展 望

協会として、審判技術講習会の充実をはかり、町民から信頼される審判員となる事が、ソフトボールの普及、発展の第1条件であることはいうまでもありません。親しみ、楽しみある、年令的にも幅のある、大衆スポーツとして如何にして啓蒙、普及、発展をはかるかが、これからの大きな課題である。各大会を多く開催する事が、必ずしも普及、発展につながるとは考えがたい。その大会が如何に充実した、いかに人間的出会いを大切に、協調、理念の基に開かれたか、という事が大事な事であろう。協会として、優れたプレーヤーを養成するのが目的ではない。広く町民に理解され、一人でも多くの方が楽しみうる場へ参加していただく事であり、その過程として優れたプレーヤー、チームが生まれる事を願うものである。ソフトボールの底辺拡大のキーポイントは中学校でのソフト教育にあると思われる。近年、札中ソフトクラブ 上田一栄先生、幕中ソフトクラブ 井上邦夫先生による指導で今後が楽しみであるが、更に中学校関係者の奮起を望みます。



第11回 全十勝ソフトボール
選手権大会風景



第16回 全十勝役場職員女子
ソフトボール大会